

教育目標		○深く考えて行動する子(めあてをもち、自ら学ぶ子) ○思いやりのある子(心優しく、助け合う子) ○健康で明るい子(命の大切さがわかる、たくましい子)							
めざす学校像		○子供の学ぶ意欲と喜びのあふれる学校 ○いじめのない、子供が安心して通える学校 ○子供と地域社会を結ぶ学校							
めざす教師像		○学びと体力向上の喜びを与える教師 ○現状把握を的確に行い子供の心に寄り添う教師 ○けじめある指導を適切に行う教師 ○誠意をもって外部対応できる教師							
		努力指標・成果指標の数値は5段階評価です。							
領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標(中間)	努力指標(最終)	成果指標(中間)	成果指標(最終)	確認事項・今後の課題	学校関係者評価記入欄
知育徳育	確かな学力の育成	基礎基本の定着	習熟度指導・個別指導の充実、ICT機器の積極的活用、学習習熟度を高めるための家庭学習の計画的な提示	4	4	4	4	・学習時間や場の設定が必要であり、時間的な余裕を必要とする。 ・学習の定着が不安な児童に対し、ICTを使った反復学習にさらに取り組めるようにしていく。 ・自分の考えをもち、友だちに伝え、児童同士の教え合う場面を意図的に設定する。	・一文字一文字を正しく丁寧に書くことを大切に学習しているかは、文章を綴る時にあらわれる。タブレット端末では定着できないことなので、さらに工夫した授業を望む。
		読解力の向上に基づく言語能力の育成	計画的な読書活動、教員による読み聞かせや一人読書と本紹介、言語能力育成を視点にした日常的な授業改善	4	4	3	3	・読み聞かせ、ブックトーク(国語科で伝記を紹介し合う活動を行った)などを行い、様々な内容の本との出会いを促す。 ・読書する児童とそうでない児童の差が大きいため、朝読書や読書週間などの取り組みを推進しながら、読書時間の確保や活動の取り組みを充実させていく。	・本を読む時間の確保に努め、読書の楽しさを味わえるような児童を育ててほしい。長期休業や休日など、家庭での読書をする機会をもってもらえるよう、呼びかをしていきたい。
	豊かな人間性の確立	けじめある学校生活	計画的な授業の実施、学習規律の確立、あいさつの励行、「九小の約束」の徹底	4	4	3	3	・特別支援教室の教員や、SC、SSWなどとの連携をさらに深めていく。 ・決まりを守っている児童をほめたり、周りをみて注意や声掛けができる児童を増やす。 ・「(特に)きまりを意識して守る週間」など、児童が自らがきまりを守る意識を高められるような取り組みをする。 ・指導内容の定着が難しい(計画通りに理解を進めていくことが難しい)児童もいるので、くり返し指導や学習支援に取り組んでいく。	・2～3年前ほどに比べ、校舎内で来客があった際に、挨拶をする児童の割合が減ったように感じます。挨拶は極めて重要なコミュニケーション手段なので、より指導をお願いしたい。
		思いやりと感謝の心の育成	児童理解のための教員研修、考え、議論する道徳授業の充実、縦割り班活動、「九小タイム」の充実	4	4	4	4	・3学期からは、九小タイムは5年生が計画・進行を行っていく。児童が最高学年への意識を高められるように指導するとともに、実施後の振り返り活動を充実させていきたい。 ・児童が分かる道徳授業から、行動や意識が変わる道徳の授業となるよう、教材と実生活、自分事という3つの効果的な関連ができるよう、日々の授業力向上に努めていく。	・一人一人の児童を、複数の教員で見守り、育ててほしい。組織的な対応をお願いしたい。 ・児童が自ら規範意識を守れるよう、粘り強い指導をお願いしたい。
		音楽・芸術活動の充実	音楽集会の実施、学級における音楽活動、図工作品の展示、日本の伝統文化を活かした活動	4	4	4	4	・音楽集会の課題曲などを丁寧に練習し、本番に備えることができるようにする。 ・情操教育関する取り組みの継続をしつつ、さらに地域の方とも連携を広げながら、豊かな教育活動ができるようにしていく。	・作品をお互いに見合い、学び合うことをさらに進めてほしい。展覧会の作品はどれも全て魅力的であった。作品をガイドしてくれた児童の姿もその内容も見事だった。子ども達の成長を誇らしく思った。 ・校内の至る所に子ども達の作品が見られ、暖かみを感じる。表現力が素晴らしい。 ・伝統的に連合音楽会やジュニアバンド等、音楽活動に力を入れてきたと思います。特に、ジュニアバンドは、教員の働き方改革で活動量が減少しつつあるので、外部講師の招聘等を早めに検討していただきたいです。
健全育成	食の教育の充実	体験的な食育の実践、栄養士・調理員との交流	4	4	4	4	・給食調理員、栄養教諭との接点をより多くするようにし、配膳台の受け渡し場面などでも何がおもしろかったのかなどを伝える機会を設ける。 ・栄養士や調理員の思いや考えを聴く機会を設けていく。その思いや考えを踏まえながら、食への感謝を高めていきたい。 ・残菜を減らすための声かけや給食委員会の取組を充実させ、効果的な活動を目指す。	・「給食調理員、栄養教諭との接点を増やす」というのは、素晴らしい取り組みだと思います。多様な職業の人と触れ合う、良い体験になり「仕事・職業」についての意識をもつきっかけになると思います。	
	体力増進に向けた活動の充実	運動量の確保を目指す体育学習、「九小ギネス」～長縄跳び、学級での休み時間の取組、外遊びの推進	4	4	4	4	・引き続き、教員の外遊び実施と声かけを行っていく。 ・体育において、簡潔で的確な声掛けや指示を心がけながら、日々の授業に取り組み、児童の活動時間の確保と運動量の向上に努めていく。	・休み時間に教員と一緒に遊んでいるようで、立派だと思ふ。引き続き、体育の授業での運動量の確保とともに、休み時間等で元気に外で遊ぶ児童を育ててほしい。	
	児童の危機意識の向上	地域との連携を図る避難訓練、登下校訓練、定期的な安全指導・朝会・安全点検、危機回避能力の育成	4	4	3	3	・予告なしの避難訓練を増やして実施する。 ・代表委員を中心とした廊下歩行改善の取り組みをさらに推進させていく。 ・担任からの一方的な指導だけでなく、児童と共に振り返る場面も設定し、児童の危機管理能力の向上を図っていく。	・登下校の児童の様子が気になる。引き続き、生活指導を学校でしていただき、児童の安全の確保をお願いしたい。 ・休み時間に教員と一緒に遊んでいるようで、立派だと思ふ。引き続き、体育の授業での運動量の確保とともに、休み時間等で元気に外で遊ぶ児童を育ててほしい。	
地域連携	保護者・地域との連携	体験的な学習の充実	コミュニティ・スクールとして、地域の人材やボランティア、教材を活用した学習や体験的学習を取り入れた授業実践の充実	4	4	4	4	・学年の学習全体を見直し、どんなことが地域人材とかがかわることができるかを考える時間を設ける。 ・これまでの活動を継続しながら、児童にとってより主体的で効果的な活動を吟味し、連携を取り続けていく。	・地域人材を大いに活用し、講師がもっている知識を担任が自分のものとして獲得することで、今後の授業に活かされ、さらに充実した学習となり、長く継続すると思う。 ・昨年より各学年に関われることがコミュニティ・スクールとして多かつた。 ・学校全体で積極的に推進してこうという方向性が感じられ、実際に実行もされていると思います。校長、副校長を始め、中心教員の代替わりが生じた時に、後任の意識レベルに関わらず、維持できるシステムの構築を希望します。
		教育活動の公開や情報発信	学校の教育活動に関する分かりやすい情報発信	4	4	4	4	・各学級が発行する情報をお互いが見あい、それぞれの情報発信に取り入れることができるようにする。	・引き続き、積極的に情報発信に取り組み、学校の様子を伝えて欲しい。